

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2008～2009年度 RIのテーマ

Make Dreams Real



会長 田中昌夫 幹事 大作 茂

第1940回例会(2008年8月26日)

点鐘

田中会長

ロータリーソング

手に手つないで

お客様

青少年交換留学生

藤田千聡様、お母様

ご挨拶

藤田千聡様



皆さんこんにちは。2007年8月から今年の7月までスイスに派遣生として留学させてい

ただきました藤田千聡です。1年間、私の留学をサポートして下さいありがとうございました。今日はスイスという国についてと私の一年間の留学生活について少しお話をしようと思います。私にはホストファミリーが2家族いました。一家族目はSteigerさんで、ロータリーの会員でホテルBaselの経営者でした。少ししかドイツ語の出来なかった私に本当に初めからとても親切にして下さいました。ホストのお父さん、お母さん、お姉さん、お兄さんには感謝きれないほどお世話になりました。

二家族目はRyterさんで、一家族目に比べるとホストの両親が若く、愉快で一つ目の家族と全く別の雰囲気家族でした。二つ目のホスト家族の娘さんも今年岩槻ロータリークラブのスポンサーで埼玉に留学していました。6月にス

イスに戻って来たので最後の3週間はスイスと一緒に過ごすことが出来ました。彼女も日本語をたくさん話せるようになっていましたし、本当に日本を気に入ってスイスに帰ってきたようで私も嬉しかったです。

スイスの学校のシステムは日本と全く違い、始めは慣れるのに時間もかかりました。しかし、日本と同じように自分の所属できるクラスがあったので、クラスメートは私が学校に行った初日から私に付き添ってくれて語学面も学校のことたくさんサポートしてくれました。授業もドイツ語なので、最初はほとんど理解できずに座っているだけでしたが、高校以外にも週に二回、放課後語学学校に通ったこともあり、後半からは授業内容も理解できていましたし、クラスのみならず一緒に定期テストも受けていました。自分でも驚くほど語学力が付きましたが、もっともっとドイツ語の勉強をこれからもしたいと思っています。スイスにもロータリーの世界中からたくさんの留学生が派遣されました。滞在中6回ロータリーが企画して下さいました集まりや小さな旅行がありました。その中で一番楽しかったスイスの思い出が、留学生54人全員で旅行したヨーロッパツアーでした。私たちは一つのバスで2週間オーストリアとイタリアの有名地を訪れました。留学中に世界中のたくさんの友達が出来たのもロータリーの皆さんのおかげです。本当に感謝しています。

二つのホストファミリー、日本で見守って

例会日： 火曜日 12:30～13:30 例会場： 埼玉りそな銀行杉戸支店 3F

事務所： 杉戸町杉戸 2-12-26 埼玉りそな銀行杉戸支店内

TEL 0480 - 34 - 1716 FAX 0480 - 34 - 1360

れた家族や友達、スイスの学校の友達、そして、スイスと日本のサポートして下さったロータリーの方々、私の留学に関わって下さったすべての皆さんにこの場をお借りして感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。

ご挨拶

藤田千聡様のお母様



昨年の7月にご挨拶に伺ってから早いものであっという間に一年が経ってしまいました。

娘を送り出すまでは心配をしておりましたが、無事に一年間の留学を終らせることが出来ました。いろいろと貴重な体験をさせて頂き、本当に感謝しております。これからもなにかとお世話になることもあると思いますがよろしくお願い致します。

会長挨拶

田中会長



本日はリコー近藤社長の話をPRESIDENTより抜粋して紹介を致します。「現場は『生野菜』

本は『豪華な料理』と思え・・・

《過去の事例研究はいわば冷めた加工食品》

子供の頃から極端に言えば勉強は嫌いでした。勉強することはあっても、好きな数学ばかり。入社以降も、ごく普通の目線で生活しているだけで、何か特別な勉強をしてきたわけではありません。もちろん本や新聞を読んで、知識や情報を仕入れることは日常的に行っています。しかし、本や新聞から学ぶのは、きれいに調理された豪華な料理を食べるようなもの。加工されたものなので、面白いがあまり役立たないという思いが少なくありません。また、加工されているから、その裏側にあるものを読み取る必要があります。常にそれを意識しながら本や新聞と接するように心がけています。そういう私に

とって、一番勉強になるのは、何と言っても、いろいろな人と会うことです。会社ならエンジニアと会って話をする、生産ラインで商品の組み立て、加工をしている人たちと話し合う。オフィス、販売店・・・さまざまところを一生懸命、見て回っています。現場でいま起こっていること、やっていることについて話を聞きます。そこで瞬間的に感じ取れるものは、料理に例えれば生野菜。本当に新鮮で、美味しいと感ずることができます。

私は趣味で家庭菜園を楽しんでいますが、うちの畑では大根がまっすぐ育たない。みんな枝分かれしてしまう。どうしてだろうと悩んでいたら、隣も畑のおじいさんが教えてくれました。「最後に肥料を土に撒いてしまうと、大根が根を伸ばしていくときに肥料に出合うたびに枝分かれしてしまうんだよ」と。現場で起こっていることは、栽培中の野菜と同じで一つ一つが生き物です。それについては、やはり現場の人がいちばんよく知っています。

幹事報告

田中会長

地区よりR I 広報賞廃止についてのお知らせがきております。

第2770地区地区大会のご案内がきております。

日時 2008年11月15日(土)～16日(日)

場所 さいたま市文化センター

地区より“輝く女性の集い”のご案内がきております。

日時 2008年9月26日(金)午後4時～

場所 ヴェルデ武蔵野

登録料 5,000円

ロータリー財団月間(11月)の卓話についての案内がきております。

地区のあゆみ20年史校正のお願いがきております。

ローターアクト第二回会長・幹事会開催のご案内がきております。

日時 2008年9月27日(土)19:00～

場所 浦和ガバナー事務所

委員会報告

管理運営部門セミナーに出席して

仁部会員



8月23日(土)にさいたま県民健康センターで行われましたセミナーに行っ

てきましたので報告を致します。

『5年後・10年後を見据えたクラブ運営の見直し』というテーマで、全体会では岩淵ガバナーの挨拶があり、会員減少に歯止めがかからないのは現在のロータリーの在り方に原因があるのではないかと、もっと将来のビジョンを設定して長期的に活動を行うべきですとのことでした。また、藤田パストガバナーより「ロータリー情報」についての基調講演がありました。「ロータリーは平等ですので知り合いを増やすには大変都合がよいと思います。社会奉仕は人生の家賃だと父に言われました。ロータリーは社会奉仕を行う多くのチャンスがあります。例会は元気をいただく場所です。ご縁をいただいて、奉仕の機会に知り合いを広めようではありませんか」とのことでした。

「クラブ長期計画」についての中村直前ガバナーは「ロータリーは現在三割の減少です。しかし日本経済を考えるとまだ大丈夫です。頑張っていきましょう。セミナーで勉強したことをクラブに持ち帰り指導をお願いします。独断専行をせず会員に丁寧な説明をして円滑な運営をして下さい。ロータリーは親睦と奉仕を両立させることが大切です。」と話しておられました。

その後、分科会(長期計画委員会とロータリー情報委員会)に分かれまして、私は長期計画委員会に出席してきました。『わがクラブの棚卸及び中・長期計画を実施して』というテーマの下、6つのクラブが発表しとても勉強になりましたのでご紹介をいたします。

まず川口ロータリークラブは50周年を迎えるにあたり、出席率を高めようと取り組んでい

るようです。104名いた会員が62名にまで減少してしまいました。原因としては高齢化もありますが、制度疲労もあったようです。こうした中で親睦を中心にお茶の会やメーキャップの会などを作り、今までを振り返り大きな反省をしながら新しい会員の意見等も聞いてきた結果、現在は会員も80名になったそうです。

八潮イブニングロータリークラブも発表がありましたが、こちらは出席率が85%以上だそうです。家庭集会をそれぞれの部門別によく開いているようです。

浦和ロータリークラブは会員が106名いるようですが、CLP導入にあたりもう21年前に長期計画懇談会というものを作っていたそうです。これを組織しているのはパスト会長だそうです。それぞれの部会から出された事案を検討しているようです。

越谷東ロータリークラブでは、前の会長さんが女性の方だったのですが、この方がロータリークラブの歌を作詞作曲して毎週この歌を歌っているそうです。そして、歌を歌うことによって、ロータリアンとしての誇りを持つようしているようです。CLPの勉強会は20数回ひらいたようです。

以上中・長期計画について推奨するよう提案がありました。クラブとしても勉強をしていかなければと思っています。

卓話

庄司会員



《私の職業について》

突然、何か仕事の話をしてくれないかと言われましたので準備もなくとりとめのない話になるかと思いますが、私の仕事についてお話をさせていただきます。

私の仕事は司法書士です。主に登記、不動産の売買、相続、商業登記、役員の変更などをや

っています。よく行政書士と間違われるのですが、行政書士は行政官庁に提出する書類を作成する仕事で、司法書士は法律関係の書類を作成しています。しかし、最近は成年後見人制度にも力を入れている方もいらっしゃいますが、私は個人としてはやっておりません。痴呆になった方の財産を管理するというのは大変な仕事でちょっと今のところ私は出来ません。

更に試験を受ければ簡易裁判所の法廷代理権というものが出てきます。これは140万円以下のものであれば弁護士と同じようにやる事が出来ます。登記関係の仕事の大口はだいたいベテランの方に仕事がいってしまいますので、私のように新参者にはなかなか登記の仕事はきませんでした。ですから私も最初は訴訟関係の仕事をやりましたが、建設関係の請負代金がもらえないというのが多いですね。下請けは口約束で仕事をもらい、契約書や納品書がないことがあります。そして元請がもらえないから下請けはもらえないと泣き寝入りをする事が多かったわけですね。そこで、昨年11月に宮代町の商工会で契約書を中心に実印に関する講習会をやり、私が講師を務めました。もし、杉戸町でもやるようでしたら協力をしたいと思います。

相続の登記についてもよく起きる問題は親が亡くなった時に遺言書がない為に揉めにもめる事が多いことです。残された子供たちが仲良く暮らせるように是非、遺言書を作成することを勧めます。一度作った物を何度でも上書きすることが出来ますので・・・費用はもちろん資産の何パーセントとなりますが、普通の家庭ではだいたい12~13万円くらいだと思います。

私はあまりやりたくない仕事にアパートの立ち退き請求があります。アパートを出されたら行くところが無いわけですから、敷金返還請求は喜んでやらせてもらいますが、立ち退きはあまりやりたくないですね。私は元々社会的弱者の力になりたいと思ってこの仕事を始めたわけですから、敷金返還請求等の仕事は喜んでやらせていただきます。

債務整理については、5社以上の会社から借りている多重債務者は成人の2%おります。杉

戸町で言えば、3万人に対して600人以上はいる計算になります。年間自殺者3万人のうち、8000人弱は金銭関係のトラブルで亡くなっています。また、金銭関係で浮浪者になった人は年間10万人とも言われ、こういう人たちは住所を持たない為に日雇い等の派遣の仕事しか出来ません。そうすると健康保険・年金等の問題も出てきます。バブル崩壊後は企業が力を付ければ雇用の機会が増えるだろうということで、派遣労働者が増えましたが、現在そういう若い人たちが正規の社員になれないための問題が出てきています。そのためアパートを出されるのもアルバイトの若い人が多いのも事実です。一生懸命働いても正社員になれないと給料は安く結婚も出来ない。すると少子化の問題にもなるわけですね。私のような仕事をしていると世の中の弱い人たちが困っている人たちを見ることが多いわけですが、少しでも役に立つことが出来ればと思っておりますので、何かありましたら是非ご相談下さい。

出席報告

仁部会員

出席免除 2名

月日	会員数	出席	欠席	MU	出席率
8/26	29	16	13	5	75%

スマイル報告

仁部会員

田中会長・・・藤田さんようこそ！

関口会員・・・藤田千聡さん一年間留学無事終了、御苦労様。この経験をローテックスに役立てて下さい。

舟越会員・・・藤田千聡さん一年間ご苦労様でした。よい経験に成りましたでしょうか！

武井会員・・・お客様ようこそ！藤田さん一年間頑張りましたね！ご苦労様でした。

落合会員・・・暑い8月から急に涼しい10月に成ってしまいました。オリンピックも終わりましたネ！9ヶの金メダルでした。予定より少なかったが、皆頑張ってくれました。有難う！

藤田様ようこそ！一年間ご苦労様でした。

以下同文・・・細井会員、戸賀崎会員、渡辺孝会員、中島会員、新井会員、黒岩会員、庄司会員、渡辺洋子会員、仁部会員、小川会員

本日投入額	17,000円
累計額	179,000円